

## 議員派遣結果報告書

平成 30 年第 2 回定例町議会において議決された議員派遣について、次のとおり実施したので、その結果を報告いたします。

平成 30 年 8 月 21 日

上富良野町議会議長 西 村 昭 教 様

議会運営委員長 佐 川 典 子

記

### 件 名 北海道町村議会議員研修会及び先進地事例調査

#### 1 調査及び研修の経過

平成 30 年 7 月 3 日、北海道町村議会議長会主催の北海道町村議会議員研修会に議員 13 名が参加し、2 講演を聴講した。また、7 月 4 日に苫小牧市の(株)Jファーム苫小牧工場において、スマートアグリシステム・省エネルギーシステムを活用した温室型植物工場の研修視察、石狩管内当別町の地域商社が運営する地元の食の提供・地域交流スペースとして、昨年 9 月にオープンした北欧の風道の駅とうべつの視察を行った。

#### 2 調査の結果

##### (1) 北海道町村議会議員研修会（札幌市：札幌コンベンションセンター）

標記研修会において 2 名の講師から、それぞれ次の演題の講演が行われ聴講した。

① 演 題 『明治維新から 150 年、現在そして未来を考える』

講 師 歴史家・作家 加 来 耕 三 氏

要 旨 歴史家から見るとテレビドラマや小説などは歴史史実に脚色されており、それを皆が楽しんで見て(読んで)いる。しかし、本当にそうであったか、立ち止まってみる必要がある。なぜなら全く同じ現象とはならないが、時代の風潮は繰り返すためであり、過去の歴史と現在の線の上に未来があるからである。①常に寛容で歴史を疑い立ち止まって考える。②事後に言うのは論外で飛躍した論旨を捨てる。③期待値を優先せず数字を大切にすることをして欲しい。

② 演 題 『現代日本政治と政局のゆくえ』

講 師 日本大学法学部教授 岩 井 奉 信 氏

要 旨 モリカケ問題も初期対応が良くなかった。しかし、国会では党首討論等での追求も野党の調査能力が乏しく、今、一定程度落ち着いたのではないか。安倍首相は総裁 3 選を当初から目指していたのではない

が、憲法改正のために3選を目指している。自民党内次期総裁候補が乏しい。安倍政権の政策(経済政策、外交政策等)は壁にあたっている。

今、野党の連携も悪く、与党勝利には衆参ダブル選挙もあるのではないか。安倍首相が自民党総裁3選され、退任後は誰が首相となっているか、5年後の情勢は見通せなく、地方においても同じなため、きちんと情勢を見ていくことが望まれる。

以上、2つの講演を聴講し、今後の活動の参考となった。

## (2) 先進地事例調査

### ① 苫小牧市：(株)Jファーム苫小牧工場

スマートアグリシステムの採用と多様なエネルギー資源を活用した温室型植物生産工場であり、環境制御装置や栽培棟、エネルギー利用、使用資材などの実証試験を行い、この植物生産システムを各方面にプレゼンする機能も有している。

昨年度までは南国フルーツや蘭などの試験栽培も実施したが採算ベースに合わず、今はベビーリーフとミニトマトの2つの作物を通年で栽培し、高糖度トマトのブランドは好評を得ている。

### ② 石狩管内当別町：北欧の風 道の駅とうべつ

平成29年9月にオープンした道の駅で駐車場敷地は北海道開発局、建物・広場敷地は当別町が設置。地元の飲食店や土産品店が入居し、農産物直売所では地元農家で収穫された野菜等を販売しているが、地元で採れない野菜類は北海道産にこだわり仕入れて販売していた。施設中央に飲食・休憩スペースを取り、地元産にこだわった食の提供や土産品の販売をしており、広い駐車場スペースと建物裏のイベントスペースにより、地元イベントにも活用できる施設となっていた。トイレも小さな子どもと一緒に入れる個室トイレが2パターンあるなど、利用する視点での工夫が見られた。

当別町は札幌から車で40分の近郊の町で石狩や増毛方面を目的とした観光客に通過されやすいため、町内外の人に当別の食を軸に魅力を発信する拠点施設として、また、札幌市に隣接する農村という特性を活かし、年間を通じた多彩なイベント開催の拠点としての役割が期待されている。

## (3) まとめ

我が町でも、ハウスなど温室栽培の導入を検討するときに温泉熱の活用や複合的なエネルギーシステムの導入、オランダ型高度栽培制御システムは興味深かく、今後のスマート農業導入の参考となった。

また、地元の強みを生かした農産物の直売、それらを活用した食の提供、6次産業化の特産品販売やイベント開催など、我が町の魅力を発信する拠点施設検討の今後の展開に大きな参考となった。